

横山第一小学校における体罰防止の取組について

<体罰防止のスローガン> **横一小体罰ゼロ宣言** 「熱く子どもの幸せを願い、冷静に指導していく」

横一小の取組①

知識・理解

年間3回以上のサービス研修を実施

- ・「STOP 体罰」(都教育委員会作成の映像資料)の活用
- ・体罰防止関連ガイドラインの確認
- ・事例研修

横一小の取組②

**意識改革
指導改善**

学校のスローガンの策定と学年ごとの「体罰防止宣言」
管理職と教員一人一人との全員面談(年間2回以上)


教職員の意識改革に努め、指導力を高めます

- 体罰は子どもの人権および人間としての尊厳を損なう行為であることを自覚し、信頼関係を根底から崩すという認識をもち、全教職員が体罰根絶に向けて意識を改革していきます。
- 児童理解を深め、体罰によらない指導法や、児童への関わり方について、事例研究やロールプレイ等を取り入れた実践的な研修を行います。

常に学校全体で確認します

- 体罰防止チェックシートを活用して、毎月1回、自己点検を行っています。
- 児童アンケートによる聞き取り調査を実施し、不適切な指導の早期発見・早期対応に努めるとともに、児童が何でも気軽に話せる環境づくり努めます。
- 児童の様々な生活面での課題については、学校全体で情報を共有し、組織的な対応を図りきめ細かく指導をしていきます。(いじめ対策委員会及び生活指導夕会(1回/週)、生活指導部会(1回/月)で情報交換・対応の検討)

体罰のない生活指導体制を構築します

- 児童の話をじっくり聞き、時間をかけて根気強く指導します。
 - 指導に当たっては、複数の教員で行います。
 - 児童一人一人の良さを伸ばす教育を通して自己肯定感や有用感を育む指導を実践します。
- 

保護者・地域との連携を図ります

- 保護者会等で学校の教育方針や学校としての体罰否定の方針を説明し、継続的な啓発を進めていきます。
- ご家庭と密接に連絡を取り合い、児童の心情や思いを共通理解して指導を進めていきます。
- 保護者や地域、関係機関との情報交換、意見交換のできる機会を増やします。特に、「学校と家庭の連携推進会議」、「横一いじめ等第三者委員会」、「学校運営協議会」など、専門機関や地域の有識者の参画した会議を積極的に設定し、不適切な指導の早期発見・体罰の防止等、開かれた学校作りに努めます。

校長のリーダーシップの下、教員の意識改革を図り、体罰根絶に向けて教職員が一丸となって組織的に取り組みます